



片桐 文夫 議員



旭市いじめ防止基本方針について

問

いじめは大人が気付きにくい形で行われ、気づいた時には深刻な状況になっていることが多い。児童・生徒に貸し出しているタブレット端末を活用し、生徒との日常的なやり取りの中で異変を察知する、あるいはメールの相談窓口を設けるといった対策はできないか。

答

市内の小・中学校では、学校の実態に応じて授業や行事の様子をオンラインで配信し、不登校児童・生徒が自宅でタブレット端末を利用して視聴できるようにしている。また、児童・生徒の特性に応じて保健室や会議室等、別の教室と教室とをオンラインでつなぎ、授業や学級の様子を視聴できるようにする等、教育機会の確保をしている。今後も、児童・生徒の実態を踏まえ、タブレット端末の利用を含め児童・生徒が立ち直りのきっかけとなるよう適切な支援をしていきたいと考えている。



タブレット端末

旭市学校再編基本方針について

問

学校再編の今後のスケジュールについて伺う。

答

地域検討会議等に3年、準備委員会や改修工事等に2年で開校まで5年程度を見込んでいる。

問

地域の方々に分かりやすい説明をして、地域に根づくいい学校編成をしていただきたいと思う。そこで、小中一貫校のメリット、デメリットについて伺う。

答

メリットとしては、小学1年生から中学3年生までの、幅広い年齢層とふれあうことで、多くのことを学ぶ機会が増えると考えられる。また、中学へ進学する際の中一ギャップを軽減できる。デメリットとしては、小学校と中学校で授業時間が異なるため、集合力が途切れたり、生活リズムが乱れるなどの心配がある。また、入学式等の学校行事の機会が減ってしまうことも挙げられる。

一般質問の内容をもっと知りたい方は



QRコードからアクセス！

一般質問の内容をもっと知りたいという方は、スマートフォンやタブレット端末で質問議員のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧ください。

※動画の再生には大量のデータ通信を行うため、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。



旭市議会インターネット中継

トップ > 生中継 > 会議名 > 議員名

録画配信

※会議の録画映像をご覧ください。



令和5年第1回定例会
3月8日 本会議 一般質問
常世田 正樹 議員

1 商工業の振興について
(1) デジタル田園都市国家構想で推奨しているデジタル地域通貨について、本市で取り組む考えはないのか。